

支出項目 政務活動費 調査研究費

No.1

4 月	年度 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
7	27	川崎市子ども夢パーク視察 (視察お礼の土産代)	1,404	1,404
	29	川崎市子ども夢パーク視察 (視察旅費)	6,360	7,764
		調査研究費合計	7,764	

# 政務活動報告書

令和4年10月21日

茅ヶ崎市議会議長  
加藤 大嗣 様

(会派名) ちがさき立憲クラブ  
(氏名) 小磯 妙子  
藤本 恵祐

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和4年7月29日
目的 地 (研 修 地)	川崎市子ども夢パーク (川崎市高津区下作延5-30-1)
政務活動の結果	別紙のとおり



## 出張視察報告書

2022. 7. 30

ちがさき立憲クラブ

小磯妙子、藤本恵祐

期 日	2022年7月29日(金) 10:00-12:00
視察先	川崎市子ども夢パーク
所在地	川崎市高津区下作延 5-30-1
対応者	NPO 法人 フリースペースたまりば 理事長 西野博之 様
視察目的	茅ヶ崎市における子どもの権利擁護及び条例制定に向け、関連施設の開設目的や運営方針等を調査研究し、今後の検討に資するため
視察概要	<p>1. 施設概要(別添リーフレット参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「川崎市子どもの権利に関する条例」(2000年12月21日制定、2001年4月1日施行)に基づき、2003年7月に同市が開設した子ども向け施設。</li> <li>・「子どもの活動拠点(川崎市子ども会議事務局あり)」、「プレーパーク(冒険遊び場)」、「フリースペースえん(不登校児童・生徒も利用)」が3つの柱。</li> <li>・施設点検日及び年末年始を除き通年開園しており、9:00~21:00まで利用可能、年間利用者数約6万人(2021年度実績)。</li> <li>・利用料無料で、指定管理者制度により「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」(公益財団法人 川崎市生涯学習財団、NPO 法人 フリースペースたまりば)が運営。</li> </ul> <p>2. 施設の開設目的、運営状況等 (西野博之氏による説明及び質疑)</p> <p>■映像、資料による施設の開設目的、経緯、運営状況等について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で不登校や虐め、子どもや青年のストレス、自死が増加傾向</li> <li>・自死のキーワードは「学校に行きたくない」</li> <li>・日本の子どもたちの「自己肯定感」が海外に比べて低い傾向(10.4%)</li> <li>・2年間、200回以上の会議を経て川崎市子どもの権利擁護条例を制定</li> <li>・子どもの権利を尊重すると子どもが我儘になるという主張には、「自身が権利で守られる⇔相手の権利を守る」という思考・行動循環の説明が重要</li> <li>・子どもの居場所は子どもの意見を聞いて造るべき</li> <li>・夢パークのフリースペースは、子どもの学校復帰を優先しない居場所</li> <li>・育ちの3要素は「遊ぶ」「学ぶ」「ケアー」</li> <li>・青少年教育施設だから「火起こし」可(公園施設は不可)</li> <li>・高齢者と子どもと一緒に遊ぶ場が必要</li> <li>・現代は通塾や部活など、子どもの時間が削られている社会</li> <li>・やってみたいことに挑戦できる環境づくりが重要(「遊びは子どもの主食」)</li> <li>・「多動」は現代社会では障がいの一つとされるが、人類は原始時代から野獣などに対処すべく「多動」だったからこそ生き残ったはず。</li> </ul>

・「困った子ども」ではなく「困っている子ども」という発想の転換が必要

■主な質疑応答

Q1)行政が負担する年間予算の額と評価は？

A1)約 7,900 万円だが、プレイリーダーや事務スタッフの人件費を十分に賄いきれる額ではない(NPO 法人の他事業収益で補填している状況)

Q2)予算確保のポイントは？

A2)不登校対策、防災対策等と一体化した予算化が必要。施設のトイレも泥だらけになり想定以上の清掃コスト(外部委託)が必要となるなど、目に見えないコストも見込んでおくべき(利用者から利用料を徴収しない運営を維持)

Q3)地域の反応は？

A3)開設当初は子どもたちの声や音に対する近隣からの苦情、自由にさせることへの地元小学校 PTA からの批判などもあったが、町会役員等を巻き込むことで徐々に理解を広げていった

Q4)夢パークのような施設を開設する際に必要な立地条件は？

A4)駅から近いことが重要(子どもだけで来場できること)

3. 所感

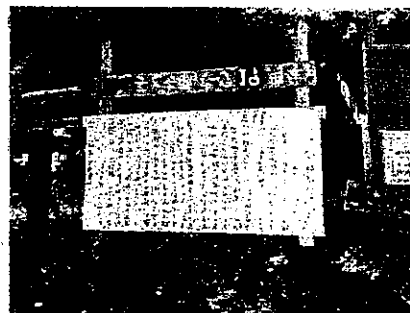
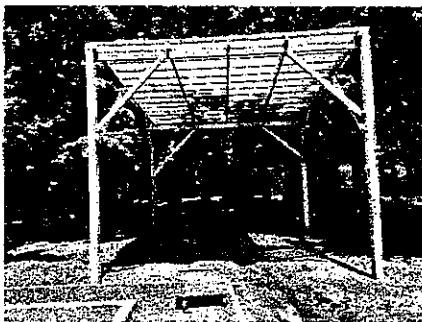
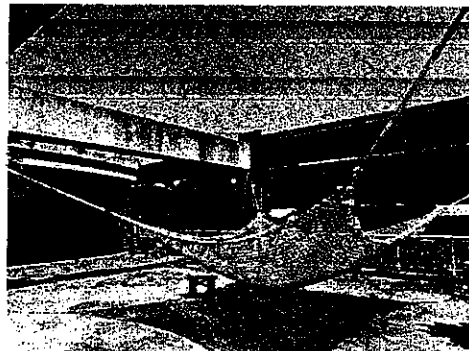
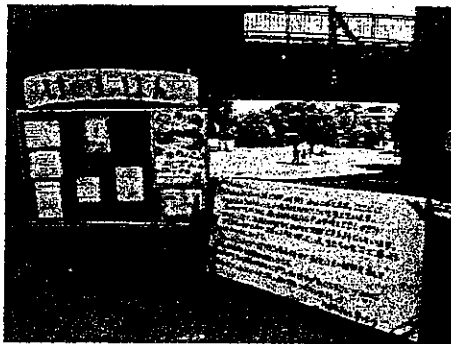
・条例制定や居場所づくりには、子どもを含む市民や地域を広く巻き込むことが重要。

・居場所としては、大きな施設に限定せず、空き地、空き家を活用したコンパクトな施設を市内に複数箇所設置する案も一考に値する。

・条例制定に紐づく予算措置を併行して綿密かつ周到に検討する必要がある。

・子ども関連予算は現在民生費、教育費などに分散されているが、「子ども関連予算」として横串しで考えて必要かつ十分かの検証と、防災対策費などとの紐づけも必要。

#### 4. 参考(施設内の様子)



# 出張旅費計算書

適用	川崎市子ども夢パーク視察 川崎市高津区	会派	ちがさき立憲クラブ			
期間	令和4年7月29日 1日	出張者 氏名	小磯 妙子 藤本 恵祐			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 津田山 JR東海道本線	1	—	54.3	990	—	990
津田山 — 茅ヶ崎 JR東海道本線		—	54.3	990	—	990
計	1	—	108.6	1,980	0	1,980
	日数		単価(円)		金額(円)	
日当	1		1,200		1,200	
研修参加費	1		0		0	
合計	¥3,180 ×		2人		¥6,360	

領 収 証

ちがさき立急 777

様

No. ....

★ 年 1404

内 訳	
現金	
小切手	/
手 形	/
消費税額等( %)	

但 御菓子屋

R4年 7月 27日 上記正に領収いたしました

収入印紙

茅ヶ崎市香川 1-1-38

ちがさきつき濃 マルエツ店

〒253-0082 電話0467-54-8660

